

事務局案に対する事前意見

【『館山市人口ビジョン改訂版』原案における事務局案について】

◆【シミュレーション3-4】を事務局案として採用してよいか。

賛成 18名 ・ 反対 1名 ・ どちらでもよい 3名

(未回答3名)

| ＜賛成＞ |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地に合った案である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 一度転出をすると戻ってくるのは難しいので、転出の抑制に力を入れてほしいと思っているが、大学や専門学校等の誘致が難しいのであれば、10代の転出は仕方ない。その代わりに戻ってきたいと思える環境整備、施策の充実に重点を置くのであれば、生涯住みたいと思え、住み続けられるまちになることを強く希望します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 結果は想定どおりにいかない場合もありますが、それでも力の入れ方によって結果も変わってくると思います。取組は積極的に、ポジティブにいくべきだと思います。UJIターンの転入増加に注力というのは理にかなっているかなと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 2060年まで約3万人の人口維持。20歳代の転入増加に期待。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 進学・就学での転出、数年後の転入の可能性、特に受け入れ案を充分検討したい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3-4「館山市人口ビジョン改訂版 1.人口の現状分析 ◆25年後には約25%減少高齢化が進む」の2040年の人口 36,000人⇒37,000人 高齢化率 46%⇒44.4% ではないか。 |
| ＜反対＞ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等教育を市内で保障できないのであれば、10代後半からの若者の転出は抑制すべきでなく、20代及びシニア層の転入を促進すべきである。 |
| ＜どちらでもよい＞ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な施策内容が多すぎて、どの施策（事業）に力を入れるのかが見えない。もっと絞り込んでその施策を実現できるようにしなければ絵に書いた餅にではないか？ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 3の5でも良いのでは！高齢層の転入促進が更に見込まれることを期待。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.8は希望出生率なので2040年には実現したい。25歳以上の全世代において、転出超過やむなしという計画は望ましいものではなく、微増でも良いので転入超過を目指すべき。一方、15歳から24歳の間は転出超過はある程度やむをえない。 |

【『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』原案について】

| | 意見 | 担当課 | 戦略反映 | 回答 |
|---|--|--------------|---|--|
| 数 値 目 標 ・ K P I | 第2期総合戦略原案で特に問題ないと思います。 | — | — | — |
| | 起業・創業者数の50人は、現実性があるのか疑問。 | 雇用商工課 | 反映できない | 現在、年間8件から9件、起業・創業者が起業支援補助金を活用しており、引き続き起業支援を強化していくことから、6年間の計画期間で50人の起業・創業者数については、現実性があると考えています。 |
| | 行政が頭を使った基本的な考え方であるから、市民はしゅくしゅくと目標を目指す。(好循環の確立を目指す) | 企画課 | 反映する | 総合戦略は、人口減少問題の克服や地方創生の実現に向けた方策、数値目標、KPI（重要業績評価指標）をまとめたものですが、取組の実効性を高めるため、市民やNPO、地域団体等と行政の連携を強化し、より多くの人々が参画する官民連携・協働によるまちづくりを引き続き推進していきたいと考えています。 |
| | P47へ「給食における地産地消比率」を入れられないか。 | 食のまちづくり推進室 | 反映できない | 地域の農水産物を地域で活用できる環境の整備が必要と認識していますが、食材の使用時期に使用量を安定的に確保すること、給食で使用可能な状態にする加工が必要になるため、供給体制を構築することが重要だと考えます。 |
| | | 給食センター | 反映できない | 国及び千葉県において、「学校給食における地場産物の使用割合」30%を目標として掲げており、館山市もこの目標数値を目指し取り組んでいるところですが、現状としましては、市内の生産物の物流が限られており、学校給食に使用する食材を入手することが困難な状況です。今回戦略への反映はできませんが、まずは、市内生産物の安定した流通体制の構築から取り組んでいきたいと考えています。 |
| | P57へ「ふるさと納税件数」または「ふるさと納税金額目標」を入れられないか。 | 企画課 | 反映する | ご提案を踏まえ、「ふるさと納税件数」をKPIとして設定することとしました。目標値は、基準値（平成30年度実績値）の約1.5倍にあたる15,000件としたいと考えています。 |
| | P62へ「官民連携事業実施数」を入れられないか。 | 企画課 社会安全課 | 反映できない | 官民連携の取組は、まちづくりを進めるうえでたいへん重要であると考えていますが、公共施設等の整備から地域の支え合い活動に至るまで多岐にわたることから、KPIとして設定するにはその定義を明確にする必要があります。ご指摘の内容については、今回反映できませんでしたが、定量的に評価できる指標を今後検討していきたいと考えています。 |
| | P39 関係人口は測れないのですか。 | 雇用商工課 | 反映できない | 「関係人口」は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。関係人口の評価については、関係する人の数だけではなく、その質や地域に対する影響などの評価もあり、測るのは難しいと考えています。 |
| そもそも、これからの5年間において、この数値目標を設定すること自体に無理があるのではないかと。令和2年度になっても、館山市では家屋の修理がままならず、朽ちてゆく家に住まざるを得ない在宅避難者が大勢いると予想される。被災者の生活再建の目途も経たないのに、このような数値目標の達成に注ぐ労力があるのか疑問を感じる。 | 企画課 | 反映できない | 総合戦略については、内閣府から、切れ目のないように策定することが求められています。先日の台風15号による被害は、市内全域にわたり甚大なものであり、一日でも早く市民生活が日常に戻るよう、復旧・復興に関する取組を最優先に行う必要があると考えていますが、一方で、人口減少問題の克服や地方創生の実現も喫緊の重要課題であると認識しています。第2期総合戦略においても、基本目標4『未来に誇れる“ふるさと”愛を育む』の中に「安全・安心なまちづくりの推進」を位置付けていますが、復旧・復興に関する取組と地域活性化に繋がる取組を両輪で進めていきたいと考えています。 | |

| | 意見 | 担当課 | 戦略反映 | 回答 |
|-----------------|---|--------|--------|---|
| 具体的な施策内容（主な事業等） | 具体的な施策は理解しましたが、詳細を教えてくださいたいと思います。 | 企画課 | 一部反映する | 総合戦略では、講ずべき具体的な施策内容を位置付けており、各施策の説明文の中で、ポイントとなる部分を補足する形としています。 |
| | サテライトオフィス誘致、二地域居住、等等、これまでに出させていたいただいた意見が複数事業内容として含まれていて、より具体的に取組むべき方向性が見えて来たような気がします。 | 雇用商工課 | 反映済み | 第2期総合戦略では、移住・定住促進等の具体的な施策内容について、表記方法を見直し、現在実施している具体的な施策名や今後取組が必要な施策を盛り込むこととしました。 |
| | 観光・インバウンド対策としては、館山は他の観光地と比べて突出して魅力的な観光名所はないものの、「海をながめてのんびりして、新鮮な海産物を食するにはいいところ」なので、長期滞在型観光のプロモーションをしてもいいのかなと思います。海近くのウィークリーのレンタルコテージを一週間借りて、家族や友人と過ごし、釣り、バーベキュー、シュノーケルやダイビングなどと楽しむといったスタイルです。 | 観光みなど課 | 一部反映する | 多様性に満ちた館山の海を活かした景観、体験、グルメ、宿などゆったりと楽しむスローツーリズムをメインに館山市観光協会や館山インバウンド協議会、千葉県と連携し、インバウンドを推進しています。今後、更に南房総地域の広域的な観光資源を組合せた観光メニューの充実や情報発信等に努めていきます。 |
| | 地球規模での環境問題を考えた場合、目先の利益だけではなく、さらに長期的なビジョンを持った事業等、市町村単位でも意識して取り組んでいく時かとも思います。環境問題は、まさに手遅れになる前になんとかしなくてはならない時期ではないでしょうか。CO2削減、プラスチックゴミ問題等、率先して声をあげ、取り組んでいくことで、例えばメディアに取り上げられるくらい際立った取組をしてみる→移住を考えている人たちにも、「環境を大切にする自治体なんだな」と思ってもらえる、そんな効果もあるかもしれません。 | 環境課 | 一部反映する | CO2削減、プラスチックゴミ問題については、地球環境保全のための世界的な課題と認識しています。その中でも、館山市は長い海岸線を有していますので、市や市民が海洋環境の保全に取り組むことが大切であると考えています。国内外の状況を把握しながら、館山市として何をすべきかを考え、発信していきたいと考えます。 |
| | 災害で停電となった場合、ソーラー、風力による電力を地域で利用できるよう研究できないか。将来的にはマイクログリッドを形成し、エネルギーの地産地消も、館山なら可能になる。自治体での取組に対して補助金制度もあり、住みやすく、環境にやさしい町、SDGsを実現するまちとして魅力を発信できる。 | 環境課 | 反映できない | 自然エネルギーについては天候や気候に左右されやすいことや、小規模の電力事業については需給管理が難しいなどの課題があります。マイクログリッドが需給インバランスの抑制についてどの程度の有効性や確実性を持つかなど難しい問題もありますので、すぐに研究というわけにはまいりませんが、まずは実証など各地の動きに注目していきたいと考えます。 |
| | | 社会安全課 | 反映できない | 環境に優しいエネルギーの供給は、今後必要な項目と思われるので、反映できるよう検討していきたいと考えます。 |
| | 食の豊かさアップ 仕事の創出 農業の成長産業化支援について 今年の災害により農業の生産基盤が壊滅的は被害を受けた中で、以前の生産力の回復が何処まで見込めるか、その対策が求められる。また、小規模ではあるが、多様性のある館山の農業の特性やグリーンツーリズムとの関連から、常に独自性のある施策が必要である。農水省の示すスマート農業は先端技術の導入による成長産業化を目指すものだが、この実現には官民ともに高額な投資的経費を伴う。国の農業政策に沿うことも必要だが、現場のニーズに合った農業施策を求める。 | 農水産課 | 一部反映する | 今回の災害では、農業用施設を中心に大きな被害が出ましたが、再建のための補助事業や借入れに対する利子補給などで、生産力の回復に努めていきます。また、一年を通じて、多様な作物が生産される館山の農業の特性を活かし「食のまちづくり」など独自性のある施策に取り組んでいきたいと考えています。スマート農業については、これからの農業の施策を進めるうえで有効な手段の一つとして、その導入による農作業の省力化や効率化、収益の拡大等の効果について検討し、取り入れていくことも必要と考えています。 |

| | 意見 | 担当課 | 戦略反映 | 回答 |
|-----|---|-----------------|--------|--|
| | <p>ふるさとへの誇りアップ 持続可能な「まち」安全・安心なまちづくり及びコミュニティの活性化について</p> <p>まちづくりの主体者は市民・住民である。住民相互の助け合いのまちづくりを支えるのが行政の役割であるが、どのように進めるかは行政主導で、そのノウハウを丁寧に示すこと。特に重要なのが、災害時の官民連携の強化を図るための日頃の連携である。行政として、地域及び民間団体に求める事柄を明確に示しておく必要を感じる。いかに、地域力の存続、強化を図るかが重要課題ではないだろうか。</p> | 企画課 社会安全課 | 一部反映する | <p>災害にも強い、安全・安心なまちづくりを進めるためには、日頃からの備えが大切であり、災害発生時に自助・共助・共助それぞれが連携し、効果的に機能できるように、地域防災力や災害対応力等を強化していくことが重要であると考えています。</p> <p>第2期総合戦略では、基本目標4『未来に誇れる“ふるさと”愛を育む』の中の「安全・安心なまちづくりの推進」において関連する具体的な施策を位置付けていますが、ご指摘の内容を踏まえて取り組んでいきたいと考えています。</p> |
| | <p>目標は机上であるからどうにもなるが、具体的な政策目標は、委員及び市民が真剣に考え、取り組む必要がある。(例：日本一の教育のまち等)</p> | 企画課 | 一部反映する | <p>第2期総合戦略の策定にあたっては、総合計画審議会での審議に加え、12月中旬から1月中旬にかけてパブリックコメントを実施する予定であり、総合計画審議会やパブリックコメントで頂戴のご意見・ご提案を踏まえ、完成を目指していきたいと考えています。</p> |
| | <p>P40 空き家対策は？(特に、移住・定住促進のための空家の有効活用)</p> | 雇用商工課 | 反映する | <p>移住・定住促進に関して、NPO法人おせつ会に委託している空き家バンク事業や空き家活用プロモーションの取組を推進していきます。</p> |
| | <p>P61 自主防災組織、消防団などの連携が重要。</p> | 社会安全課 | 反映する | <p>自主防災組織や消防団などと連携を図りたいと考えています。</p> |
| | <p>P59 地域包括ケアにおける社協の機能強化、ボランティア育成</p> | 高齢者福祉課 社会福祉課 | 反映済み | <p>地域包括ケアシステムの構築には、社協を含め、ボランティア育成が不可欠でありますので、同項目の中で取り組んでまいります。</p> |
| | <p>関係人口の増加に向けて ローカル・ベンチャー協議会などの組織との連携。</p> | 雇用商工課 | 一部反映する | <p>関係人口の増加に向けて、様々な取組が全国的に進められています。ローカルベンチャー協議会などの活動も一つの事例として参考にしながら施策を進めていきたいと考えています。</p> |
| | <p>被災者の生活再建を第一に考えるべきではないのか。東日本大震災をはじめとする過去の大災害では、ずっと被災弱者は取り残された歴史があるし、館山市もそうなる。となると、SDGsで掲げる「誰一人取り残さない」という理念が空々しい。 また、老朽化施設の改修・氾濫しそうな河川の護岸工事・生活圏の排水整備・土砂崩れしそうな山林の対策など災害へのインフラ強靱化に力点を置くべきではないのか。そもそも、危険なところに人は住まないし、来ない。</p> | 企画課 | 一部反映する | <p>ご指摘のとおり、被災者の生活再建を第一に考え、復旧・復興に関する取組を最優先に行う必要があると考えています。総合戦略は、人口減少問題の克服や地方創生の実現に向けた方策をまとめたものですが、基本目標4『未来に誇れる“ふるさと”愛を育む』の中の「安全・安心なまちづくりの推進」において、「災害対応力の強化」や「道路等社会基盤に係る長寿化対策の実施」等、関連する具体的な施策を位置付けています。</p> <p>加えて、今回、基本目標2『“食”の豊かさで人を引きつける』の中の「農業生産基盤の維持・保全」、基本目標3『“若者”の夢と希望をかなえる』の中の「商業・工業の活性化の元気創造」において、新たに「台風被害の復興促進」を位置付けることとしました。</p> <p>SDGsで掲げる「誰一人取り残さない」という崇高な理念を念頭に置き、優先すべき課題解決に取り組んでいきたいと考えています。</p> |
| その他 | <p>館山の海について 最近、水上バイクが横行し、海水浴客が減少傾向にある。海水浴シーズンの7/〇〇日～8/〇〇日までは、水上バイク禁止等の条例を作り、海水浴客が安全に遊泳でき、楽しめる海にしなければ、遠泳等で利用している臨海学校が館山に来なくなるのではないかと。</p> | 観光みなど課 | 反映できない | <p>水上オートバイや小型ボートなどの小型船舶の航行については、それ自体が違法行為とはならないため、条例等により運航禁止期間を設けるのは現実的でないと考えます。</p> <p>一部のマナーの悪い者の行為が問題であることから、引き続き関係機関、民間団体等の協力を得ながら合同パトロールを実施して海岸利用におけるマナーの徹底を図ってまいります。</p> |
| | <p>それぞれの施策について、部署への振り分けはあるのか。あるのであれば、施策別に部署の記載をお願いします。</p> | 企画課 | 反映する | <p>ご指摘を踏まえ、概要版への記載または別表の作成等により、「具体的な施策内容(主な事業等)」とその担当部署がわかるようにしたいと考えています。</p> |

| | 意見 | 担当課 | 戦略反映 | 回答 |
|--|--|-------|--------|--|
| | <p>介護職、サービス業など、人手不足な業種の労働条件を見直し、“館山で暮らしを楽しみながら働く”ことができるように各事業所へ働きかけをすべき。新しい仕事の創出よりも必要とされていることではないだろうか。今、人手不足に悩む業種が十分なサービスを行えるようになれば、育児、医療、介護、農林漁業、観光業、建設業、すべてがうまく回り、暮らしやすくなり、自然に人口が増えるはず。</p> | 雇用商工課 | 一部反映する | <p>人口減少・少子高齢化社会を見据え、“若者”の夢と希望をかなえるために、多様な就業の場の創出、起業・創業にチャレンジする若者の支援、職業のマッチングなどにより、新しい仕事の創出を考えています。 医療・介護職やサービス業などの市内の各事業者は人手不足に対する危機感を持っており、その対策についても検討している、または検討したいと思っている企業が大半を占めており、働きやすい職場環境への配慮も進んできています。 医療・介護職やサービス業の方が誇りをもって働ける社会環境やそのような業種へ進路を求められるような教育等を進めていきたいと考えています。</p> |
| | <p>お願いすることはあるが、日程・時間の都合がある。事務局は毎日この件で勉強・知識集約しているが我々委員は附帯仕事である。そこで、資料中に特殊用語、横文字用語が出てくるが委員全体が理解できる説明を加えてほしい。</p> | 企画課 | 反映する | <p>第1期総合戦略と同様に、本日、審議会資料として配付しました「用語説明」を第2期総合戦略の巻末に盛り込みたいと考えています。</p> |
| | <p>(今回は難しいと思いますが、次回に向けて) (1)基本目標と(2)目指す方向性の順序が逆のような気がします。基本目標の4点は“たて割り”で、本来、方向性がある上でその分野(海とか食とか)で考えないと、読んでいて思考が途切れる。</p> | 企画課 | 反映できない | <p>当市の総合戦略の基本目標は市の特性を踏まえて定め、また、目指す方向性(政策分野)は国の総合戦略が定める政策分野を勘案した構成としており、市が有する地域資源に磨きをかけ、活かしていくことで、市の将来を担う“若者”の「しごと」をつくり、「まち」の活性化を図るとともに、「ふるさと”館山”」に対する誇りや郷土愛、地域の支え合いをはぐくむことを趣旨としたものです。 ご指摘の内容については、次回に向けた検討の参考とさせていただきます。</p> |
| | <p>そもそも地方創生政策は全国的に見ても、館山市においても成果は乏しく、それも最初から予想されていたことであり、また同じような計画に6年間も取り組むべきなのか、という疑問を感じている。地方創生総合戦略は国策であるが、補助金を得るためとはいえ、それに館山市は必ずしも付き合っただけで計画を作らなくてはならないのか。 また災害復旧の目途が立たない現状において、計画を策定しても机上の空論になるような気がする。そして空論の数値目標の達成に労力を取られるのは不毛である。</p> | 企画課 | 一部反映する | <p>平成26年12月に、国は、まち・ひと・しごと創生法に基づく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方公共団体もこれを勘案して地方版総合戦略を策定することが努力義務とされました。 また、地方創生関連交付金の採択にあたっては、関連事業の総合戦略への位置付けが必須とされています。 市では、平成28年度から令和2年度までの5か年を計画期間とする地方創生推進交付金事業の採択を受けているため、交付金を充当するには、第2期総合戦略の策定が必要となっていますが、人口減少の克服や地方創生の実現は、市の喫緊の重要課題であると認識しています。 復旧・復興に関する取組を最優先に行う必要があると考えていますが、並行して、総合戦略に位置付けた地域活性化策にも取り組むことにより、「まち」の活性化・魅力向上に繋げていきたいと考えています。</p> |
| | <p>SDG s の知識をひらきおこし、理解を深めることが重要であると思う。</p> | 企画課 | 反映する | <p>まずは、第4次館山市総合計画の「後期基本計画」の策定にあたり、今年度を実施する予定の市民意識調査の中で、市民のSDG s に対する認知度や関心度について把握したいと考えています。 SDG s の達成に向けては、市民を始め、企業、まちづくり団体等、多様な関係者と行政とのパートナーシップの構築が必要不可欠であり、行政がその旗振り役となることが求められています。 第2期総合戦略において、各種施策とSDG s の各ゴール(目標)との関連付けを行い、双方の関連や繋がりを整理しましたが、今後、広報紙やホームページ等を通じ、SDG s を推進する意義や具体的な取組など、SDG s の周知・啓発に努めていきたいと考えています。</p> |

【『後期基本計画』策定に係る市民アンケートの内容について】

| 意 見 | 反 映 | 回 答 |
|---|--------|--|
| 性別の「3. その他」は選択肢に入れる必要があるのか？ | 反映できない | ダイバーシティ、特に多様な性のあり方（LGBT等）を考慮し、また、最近の他のアンケート実施例も参考にしました。 |
| 年齢について、80歳、90歳以上を選択肢に入れるべき。 | 一部反映する | 前回のアンケートでは、60歳代、70歳代以上で回答者の半数を超えていたことから、なるべく若い方の回答を増やしたいと考えています。今回、80歳代以上の選択肢を新たに設けますが、人数的には絞りつつ、なるべく負担にならないように回答していただく予定です。 |
| 居住状況について、市外での居住経験年数の記載があるべき。「館山市生まれだが、市外での居住経験がある（_____年）」 | 反映する | 市外での居住年数で、大学卒業直後のUターンか、ある程度年数が経ってからのUターンかをおおまかに判別することができるものと考えます。 |
| 問6が唯一具体性に乏しく、抽象的な印象がある。回答のおおよそ感は否めない。 | 反映できない | 第4次館山市総合計画の「前期基本計画」に位置付けた基本施策についての設問であるため、「後期基本計画」の策定にあたり、各施策の満足度・重要度を把握したいと考えています。 |
| 問8 並べ方を自助→共助→公助の順に整理する（選択肢の中には誰がやるかわかりにくいものもある） | 反映する | ご提案のとおり選択肢を並べ替えることとしました。 |
| 問8、18、20については、3つと制限しない方がよい。 | 一部反映する | ご指摘を踏まえ、選択できる項目を増やすこととしました。ただし、特に重要視すべき項目について把握したいと考えており、設問数の3分の1程度に制限することとしました。 |
| 問9は、今回災害にあった人は不快に思うかもしれない。 | 一部反映する | 前回のアンケートでは、自助に重点を置くべきとの回答が一番多くありました。今後、同様の災害が発生した際に被害を軽減するための備えとしてどこに重点を置くべきかを問う質問としました。 |
| 問9 現時点でどれが弱いか問うものにしては？重要な順（自助→共助→公助）を聞いても意味がない。 | 反映できない | 今後、同様の災害が発生した際に被害を軽減するための備えとしてどこに重点を置くべきかを問う質問としました。 |
| 問12 消防団と自主防災組織は別の選択肢にすべき。自主防災組織に入っている意識をどれだけ持っているのか。町内会に入っていない人は少ないのでは？ | 反映する | ご指摘のとおり、消防団と自主防災組織については、別の選択肢にすることとしました。 |
| 今住んでいる地域（町内会・自治会）がコミュニティとして機能しているか、災害時に機能するかなどの実態を調査してもよいのでは？ | 一部反映する | 今回、避難所や支援物資の配布など、地域コミュニティの範囲について関心が高まりました。問15では、そのような意識も含めて確認したいと考えています。 |
| 環境問題についてなど、市民の意識を確認する機会があってもよいのかなと思います。 | 反映できない | 環境問題についての個別の設問はありませんが、SDGsや問6の施策の満足度・重要度で確認したいと考えています。 |
| 今の時期だと、各種支援金の申請や生活再建に忙しく、「アンケートどころではない」という反発を招くのではないかと。 | 一部反映する | 当初、12月中旬～1月中旬に実施する予定でしたが、市民生活の現状等を踏まえ、現時点では2月を目途に実施したいと考えています。 |